

対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		中学校施設整備事業						予算事業名		中学校施設整備事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
				10	03	03	20	経常経費					
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう 地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり 安心して学べる学校づくりの推進						事業の区分		主要事業			
								担当課係等		学校教育課 施設係			
		事業期間		継続 (令和 4年度～ 年度)									
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
生徒が安全で快適に学ぶことができる教育環境の整備を図る。 教職員が児童を指導するうえで、良好な環境を整備する。													
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】					
○改修工事 ・長寿命化改修(校舎、体育館) ・武道場及び体育館改修 (LED化等) ・外トイレ改修 (老朽化による建物及び和便器を洋便器化へ改修) ・防火設備及び消防設備改修 (耐用年数を考慮し順次改修) ・グラウンド及び外構工事(経年劣化部等を順次改修) ・結城中学校駐輪場改築 ・プール改修(結城東中)								生徒及び教職員					
								【事業をとりまく環境の変化】 学校からの要望件数が校舎の老朽化とともに年々増加し、教育環境の改善が求められている。 老朽化の進行が進んでおり、部分的な改修ではなく、全体的な大規模改造を実施しなければ改善されない状態となっている。					
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】					
・校舎長寿命化改修実施設計（結城南中） ・武道場照明器具改修（結城中） ・外トイレ改修（結城中） ・結城中学校駐輪場改築 ・プール改修（結城東中） ・防火設備、消防設備、外構改修				校舎長寿命化改修（結城南中） 体育館長寿命化改修実施設計（結城中） 体育館照明器具改修（結城南中） 外トイレ改修（結城東中） 防火設備、消防設備、外構改修				体育館長寿命化改修（結城中） 防火設備、消防設備、外構改修					
■事業費													
				R03年度		R04年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	4,200	39,100						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	25,887	13,105						
歳入計（千円）				30,087		52,205							
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）							
	12 委託料			3,883		2,205							
	14 工事請負費			26,204		50,000							
歳出計（千円）（A）				30,087		52,205							
伸び率（％）						73.51							
備考													

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	駐輪場改築工事	校	目標	1.00	1.00	1.00
	現在とは別部に駐輪場を建設し、現駐輪場の解体撤去後に砕石敷き駐車場		実績	1.00	0.00	0.00
	体育館改修		目標	1.00	1.00	1.00
	LED化照明器具への交換		実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	教育環境整備のために必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外では実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	施設の老朽化が進むにつれ、一件の工事規模が大きくなる傾向にあり、工事に係る準備や設計、学校側との連絡調整に人員や時間を要する。
公平性	受益者の偏り	B どちらも言えない	改善要求及び必要性のある施設について対応できている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	緊急性・重要性の高い案件を優先的に整備し、一定の効果は得られている。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	突発的な改修や事業費の増加により計画の見直しが必要になる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
学校施設個別施設計画に基づき、計画の見直しをするとともに事業費の平準化を図っていく。また、現在進行中である小学校統廃合計画の状況を総合的に判断し、既存校舎の利用も視野等に入れ、随時計画に反映させていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 令和5年度東中学校プール改修工事は共同利用のため実施し、その他については、個別施設計画に基づき施設の長寿命化を図る。 なお、結城南中学校施設の長寿命化は新設小学校と同時施工だと仮設校舎が必要となり経費が嵩むことを想定したが、小学生の中学校施設の利用については今後方針を決定する。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	